



要求実現・政治変革語りあう 奈良懇談会に100人 大門・清水議員が報告

日本共産党奈良県員会は17日、大和郡山市内で「国政要求懇談会」を開き、会場いっぱいの100人近くが参加。要求、野党共闘で政治を変える道を語りあいました。懇談会では大門実紀史参院議員、清水忠史衆院議員が報告しました。

清水議員は、「桜を見る会」問題に国民の怒りが広がっている背景には、関電への原発マネーの還流、閣僚の連続辞任など安倍政権の下でのモラルハザードがあることを指摘。憲法審査会を動かして改憲を進めるたくらみは、野党共闘の前進で思惑通り進んでいないと述べました。大門議員は「桜を見る会」は税金私物化、公選法違反など「総理の犯罪・資格」が問われる問題であること、野党共闘があるからこそ大きな問題になっていることを指摘。参院選後、改憲を一気に進める狙いを野党共闘で勝ち取った10議席がくじいたことをリアルに語り、「野党共闘と世論の力で安倍政権を打倒しよう」と訴えました。

●暮らし・社会保障・平和・奈良壊し・共闘熱く討論

討論は次つぎ手が上がり、19人が発言。「消防広域化で消防出張所が削減され、救急車の到着時間が5分から9分になった」（大和郡山市）、「文化財保護法改悪で文化財保護課が知事所管になり奈良破壊がさらに進んでいる」、「中小河川改修へ国の対策強化を」、「公立病院再編がすすめば市立病院再編になる」など活発に語りあいました。

立憲民主党、新社会党、市民連合からも参加。「アンダークラスの人たちとリベラルが手を握る」「個人の権利を大切に」「共闘強化へ下からの運動強化を」「投票に行かない人への働き掛けを」などの発言がありました。

●街頭宣伝で「桜を見る会」追及を訴え 懇談会の後、近鉄奈良駅前で清水・大門亮議員が街頭演説。周辺で「桜を見る会 税金私物化 即刻退陣」の看板を掲げての宣伝、「赤旗」購読の訴えも行われました。



内閣支持大幅ダウン 各紙世論調査

□読売（18日付、15～17日調査）▽内閣支持 支持49（－6）不支持36（＋2） 5割を割ったのは2月以来9カ月ぶり▽不支持理由 首相が信頼できない45（＋10）

□産経・FNN（16、17日調査）▽内閣支持 支持45、1（－6）不支持37、7（＋4、7）

□朝日（19日付、16、17日調査）▽「桜を見る会」「招待者のとりまとめに関与していない」という首相の説明 納得できる23 納得できない68▽安倍首相の政策で評価する政策は？ 評価する政策はない30 外交・安保26 経済18 社会保障16 憲法改正6

近畿ブロック事務所ニュース

Tel06(6975)9111 Fax06(6975)9115

【府県・地区・地方議員御中】

No. 31 (2019.11.19)